

20
27

お知らせ

人間関係学研究科は2028年4月から星が丘キャンパスに移転します。
臨床心理相談室も併せて星が丘キャンパスに移転する予定です。

人間関係学研究科

人間関係学専攻 修士課程



■臨床心理学領域

現代社会で増え続ける心理的問題を サポートできる専門家の養成を目指す

子ども虐待、自然災害や事件後のこころのケアなど、心理的援助を必要とする課題は近年ますます増えています。このような社会の中で、さまざまな心理的問題を抱える人々に対して、臨床心理学など心理学の専門知識と技術を用いて援助することのできる公認心理師および臨床心理士の養成を目指します。地域に開かれた臨床心理相談室でさまざまなケースを担当し、また、学外の施設を活用して実践的な研修を積むと同時に、公認心理師および臨床心理士である専任スタッフによる充実した継続的なスーパーヴィジョンのシステムによって、知識と実践が相補的に機能するよう、教育的な配慮がなされています。

■人間共生領域

日常生活・社会生活の課題を解決し 共生社会の実現を目指す

親子関係の葛藤、学校での問題、地域社会での対立など人間関係が多様化・複雑化する現代社会において、人や社会とのつながりの目的は共生すること。「共生」とは、性別、性的指向、民族、言語、障害など、さまざまな違いのある人が、対等な存在として、ともに認め合い、支え合う生き方をさします。人間共生領域では、家族、地域社会、職場など日常生活に関わる現代社会の問題を多角的に捉えるだけでなく、そうした課題に直面したときの現実的な解決方法を学ぶことによって高度な知識や課題解決能力を養い、自己実現が可能な共生社会を実現するための多様なアプローチを理論的・実践的に修得することを目指します。

取得できる免許・資格

- ・中学校教諭専修免許状(社会) ※1
- ・公認心理師(受験資格) ※2
- ・高等学校教諭専修免許状(地理歴史) ※1
- ・臨床心理士(受験資格) ※2
- ・高等学校教諭専修免許状(公民) ※1

※1 一種免許状を取得していることを条件とします。
※2 臨床心理学領域において必要科目を単位取得し、修了することを条件とします。

人間関係学研究科は、人間関係学部を基盤とした日本で最初の大学院です。

産業が高度に発達し、人々の生活環境が激変する中で、さまざまな人間関係の問題に的確に対処し、人々の自己実現や自己開発の努力に援助の手を差し伸べることのできる人材が必要とされています。人間関係学研究科では、臨床心理学及び人間共生に関する教育研究を通して、臨床心理相談、地域・福祉の公共政策、企業の人事・研修、学校教育・生涯教育などに関わる高度な専門的職業人を養成し、社会の発展と福祉に貢献することを目指します。

■個性が活きる社会の実現に向けて

現在、私たちを取り巻く社会は、これまで以上に変化の速度が速く、少し先の未来を予測することが難しい不確実性の高い社会であると言われていています。私たち自身も変化する社会の態様に身を委ねつつ、多様な価値観の中で自身の価値観の優位性を主張して競合するのではなく、異なる価値観のなかで新たな発見をし、関係性を展開させていくことが求められています。

臨床心理学領域では、個性豊かな人々のこころの健康の保持増進に貢献できる公認心理師・臨床心理士を養成しています。また、人間共生領域では、社会が抱える諸課題を多角的にとらえ、多様な個性が交差するなかで自己実現が可能となる共生社会をデザインするためのアプローチを、理論的・実践的に修得することを目指しています。



人間関係学研究科長
西出 弓枝

授業科目概念図

修士課程 人間関係学専攻

研究基礎科目

人間関係論Ⅰ（臨床心理学的研究）

人間関係論Ⅱ（人間共生研究）

研究発展科目

〔臨床心理学領域〕

臨床心理学特講Ⅰ	臨床心理査定演習Ⅰ	心理実践実習ⅡA	発達心理学特講
臨床心理学特講Ⅱ	臨床心理査定演習Ⅱ	心理実践実習ⅡB	社会心理学特講
心理療法特講Ⅰ （心理支援に関する理論と実践）	臨床心理学基礎実習Ⅰ	心理実践実習ⅡC	産業・組織心理学特講 （産業・労働分野に関する理論と支援の展開）
心理療法特講Ⅱ	臨床心理学基礎実習Ⅱ	心理実践実習ⅢA	犯罪心理学特講 （司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）
臨床心理査定特講 （心理的アセスメントに関する理論と実践）	臨床心理学実習Ⅰ （心理実践実習ⅠA）	心理実践実習ⅢB	精神医学特講 （保健医療分野に関する理論と支援の展開）
	心理実践実習ⅠB	心理実践実習ⅢC	
		臨床心理学実習Ⅱ	
		心理学研究法特講	
		臨床心理学特別演習	

〔人間共生領域〕

障害者心理学特講 （福祉分野に関する理論と支援の展開）	家族社会論特講	子ども論特講	比較文化論特講（隔年）
学校臨床心理学特講 （教育分野に関する理論と支援の展開）	コミュニティ論特講	ライフステージ論特講	メディア文化論特講
家族関係・集団・地域社会における 心理支援に関する理論と実践	福祉社会論特講	教育社会学特講	対話技法論特講（隔年）
心の健康教育に関する理論と実践	生命倫理学特講（隔年）	学校教育臨床特講	フィールドワーク論特講（隔年）
比較行動学特講	ジェンダー・セクシュアリティ論特講	生活経済論特講	社会・教育調査演習
	障害者福祉論特講	社会保障論特講	

特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（修士論文指導）



事例研究科目

事例研究Ⅰ（臨床心理学的問題）

事例研究Ⅱ（人間共生問題）

修士論文

特色

●各専門分野の枠を越えた履修が可能

研究科1専攻とし、臨床心理学、人間共生という専門領域の枠を越えて総合的な選択履修が可能です（※臨床心理学領域の特定の授業科目を除く）。

●人間や人間関係に関わる高度専門職業人を養成

●多様な履修体系により、社会人の方にも広く門戸を開放

●効果的な教育方法の導入

複数の教員による指導が可能な事例研究法や研究報告会方式を導入するとともに、実践による学修を積極的に勧めるなど、効果的な教育方法を導入しています。

人間関係学研究科は、社会人の方にも広く門戸を開放します。

●昼夜開講制を実施

月曜日から金曜日までは第1～5時限の授業、さらに第6時限（18時30分～20時）にも開講し、社会人の方への便宜を図ります。ただし、公認心理師および臨床心理士受験資格必修科目などは昼間のみ開講します（土曜日は第1～4時限のみ開講）。

●前後期からなるセメスター制を採用

短期集中的授業による教育効果の向上と、社会人の方がセメスター単位で授業と仕事に交互に関与できるなどの点から、前期（4/1～9/20）・後期（9/21～3/31）によるセメスター制を採用しています。

●星が丘キャンパスを活用

主として第6時限の授業は星が丘キャンパスで行います。地下鉄東山線「星ヶ丘」から徒歩5分と便利な立地です。

■社会人大学院生の声

入学のきっかけについて	「これまでの仕事を通じて、更なる探究心が高まりました。」 「自分の生き方・研究など、違う視点からみてみたいと思ったからです。」
人間関係学研究科を選んだポイント	「サテライトキャンパス（星が丘）があり、夜間開講科目もあることから、仕事との調整ができました。」 「夜間開講科目の終了が20時となっており、翌日の仕事へも差し支えがありません。」
生涯学習の場としての大学院について	「通信教育では挫折するかもしれないが、通学だと教員からの直接指導が受けられ、研究継続への励みになります。」 「大学院での単位修得・論文作成と、仕事を両立させるには覚悟が必要です。」

人間関係学専攻[臨床心理学領域]



教育研究の特色

■徹底したスーパーヴィジョン

スーパーヴィジョンとは、心理的援助においてセラピストが自分の担当事例(ケース)についてスーパーヴァイザーに報告し、適切な方向づけを得るための指導を受けることです。大学院生は、併設する臨床心理相談室や学外の施設で実際にケースを担当し、臨床経験を積んでいきますが、担当するケースごとに専任教員(スーパーヴァイザー)によるスーパーヴィジョンを受けるシステムをとっています。スーパーヴィジョンは授業の一環として組み込まれ、適切な指導で知識と実践を融合させるように工夫しています。

■充実した臨床スタッフ

専任教員のうち7名が公認心理師および臨床心理士の資格を持っています。また、臨床心理相談室には公認心理師・臨床心理士資格を持つ経験豊富な臨床スタッフが揃っています。さまざまな立場や経歴の公認心理師・臨床心理士に、授業やケース会議、スーパーヴィジョンなどを通してじっくり指導を受けることができ、偏った臨床観に陥る危険性を少なくするよう考慮しています。

■多様な臨床実践の機会

臨床心理相談室では2025年に2,754件の面接をしており、幼児期から老年期まで、実績や経験に応じて、さまざまなケースを担当する機会が与えられます。また、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5分野において院生1人につき2ヵ所以上の学外実習先が用意され、多様な臨床経験を積むことができます。

■女性として、臨床家として

女子大の公認心理師・臨床心理士養成の大学院の数は多くありません。しかし、女性がこころの専門家を目指して学び、臨床現場でこころのケアにあたることには意義があります。性差を特別に強調することではなく、「女性として」「女性ならではの」臨床実践の機会と必要性が確実に増加しているからです。臨床心理学領域では女性のこころの専門家養成を目指しています。

臨床心理学領域における人材育成

■高度専門職業人の養成

公認心理師

「国民の心の健康の保持増進」に寄与することを目的とし、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5分野において、心理学に関する専門的知識および技術を持って業務を行う公認心理師(国家資格)を養成します。

臨床心理士

臨床心理学など心理学の知識や諸技法を生かして、こころの問題に関わる専門家として、医療、福祉、教育、司法、産業などの領域で活躍することができる臨床心理士(日本臨床心理士資格認定協会による認定資格)を養成します。

■研究者の養成

臨床心理学における優れた研究能力を有する人材を育成します。



臨床心理学領域授業科目

履修モデルA-1 ねらい／「公認心理師」と「臨床心理士」の養成 ※受験資格取得の必修科目は昼間開講のみ

研究基礎科目		学校臨床心理学特講 (教育分野に関する理論と支援の展開)	
人間関係論Ⅰ(臨床心理学的研究)	(2単位)	学校臨床心理学特講	(2単位)
研究発展科目		臨床心理学基礎実習Ⅰ	
臨床心理学特講Ⅰ	(2単位)	臨床心理学基礎実習Ⅰ	(1単位)
臨床心理学特講Ⅱ	(2単位)	臨床心理学基礎実習Ⅱ	(1単位)
心理療法特講Ⅰ (心理支援に関する理論と実践)	(2単位)	臨床心理学実習Ⅰ (心理実践実習ⅠA)	(2単位)
心理療法特講Ⅱ	(2単位)	臨床心理学実習Ⅱ	(1単位)
臨床心理査定特講 (心理的アセスメントに関する理論と実践)	(2単位)	家族関係・集団・地域社会における 心理支援に関する理論と実践	(2単位)
臨床心理査定実習Ⅰ	(2単位)	心の健康教育に関する理論と実践	(2単位)
臨床心理査定実習Ⅱ	(2単位)	心理実践実習(ⅠB～ⅢC)	(3単位)
心理学研究法特講	(2単位)	比較行動学特講	(2単位)
発達心理学特講	(2単位)	事例研究科目	
産業・組織心理学特講 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	(2単位)	事例研究Ⅰ	(2単位)
犯罪心理学特講 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	(2単位)	特別研究	
精神医学特講 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)	(2単位)	特別研究Ⅰ	(1単位)
障害者心理学特講 (福祉分野に関する理論と支援の展開)	(2単位)	特別研究Ⅱ	(1単位)
		特別研究Ⅲ	(1単位)
		修士論文	
		修士論文の審査および最終試験	
		合 計	33科目 (54単位)

●時間割例(1年次前期授業科目例)2026年度

	月	火	水	木	金	土
1		特別研究Ⅰ		障害者心理学特講 (福祉分野に関する 理論と支援の展開)	心理学研究法 特講	
2	臨床心理査定 演習Ⅱ	心理療法特講Ⅰ (心理支援に関する 理論と実践)	臨床心理査定 演習Ⅰ	発達心理学 特講	臨床心理学 特別演習	
3	家族関係・集団・地域 社会における心理支援 に関する理論と実践		犯罪心理学特講 (司法・犯罪分野に関する 理論と支援の展開)		臨床心理学 基礎実習Ⅰ	
4	産業・組織心理学特講 (産業・労働分野に関する 理論と支援の展開)		臨床心理学 特講Ⅱ		臨床心理学 基礎実習Ⅰ	
5				社会心理学 特講		
6						

公認心理師

97.3%
合格者数72名/
受験者数74名
2019～2026年
3月の修了生

臨床心理士

96.9%
合格者数253名/
受験者数261名
2002～2025年
3月の修了生

一定条件を満たして
本領域を修了すると、
公認心理師および
臨床心理士の受験
資格が得られます。



地域の人々のために、臨床心理相談室を開設しています。日進市教育委員会の委託を受けて、日進市内の小中学校の教員および適応指導教室の相談員や市内の保護者の相談に応じています。また、公認心理師・臨床心理士になるための学生の実習施設にもなっています。

修了生の主な進路・活躍先

※希望する修了生はほぼ全員心理職に係わる仕事に就いています(非常勤を含む)。

- 医療：愛知医科大学病院、愛知県精神医療センター、あいち小児保健医療総合センター、あさけ診療所、大高クリニック、岡崎メンタルクリニック、桶狭間病院藤田こころケアセンター、国立長寿医療研究センター、小牧市民病院、小牧メンタルクリニック、熊本クリニック、済生会明和病院、さくらクリニック、定塚クリニック、静岡県立総合病院、島根県立中央病院、総合心療センターひなが、津島市民病院、豊田西病院、名古屋大学医学部附属病院、東尾張病院、久屋大通いとうクリニック、平谷こども発達クリニック、福智クリニック、藤が丘メンタルクリニック、藤田医科大学病院、堀クリニック
- 保健・福祉・警察：愛知県尾張事務所健康福祉課、愛知県警、一宮市北保健センター、大治町保健センター、尾張福祉相談センター、愛厚ならわ学園、青少年相談センターパルクとよた、名古屋市児童福祉センター(くすのき学園)、日進市保健センター、

扶桑町保健センター、彦根子ども療育センター

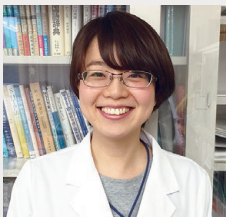
- スクールカウンセラー：愛知県、名古屋市、日進市、岐阜県、三重県、島根県、江南市、横浜市、愛知高等学校、至学館高等学校、名古屋中学校・高等学校、相山女学園中学校・高等学校
- 大学：愛知淑徳大学、愛知みずほ大学、中京大学、中部大学、東京福祉大学、名古屋芸術大学、人間環境大学、相山女学園大学学生相談室、相山女学園大学臨床心理相談室
- 産業：三菱重工業、トヨタ自動車、三菱自動車、クラ・ゼミ
- 公務員(心理職)：愛知県、大垣市
- 進学：名古屋大学大学院博士課程(後期課程)、愛知県立大学大学院博士後期課程

修了生の声

■熱心な指導と症例を実践的に学べることが魅力

現在、精神科病院の司法病棟で公認心理師として働いています。司法病棟では、心理学の視点だけでなく、法律や地域支援などさまざまな視点が必要とされます。症例と関わりながら柔軟な視点が必要とされます。症例と関わりながら柔軟な視点が必要とされます。症例と関わりながら柔軟な視点が必要とされます。子どもの頃から人の心の動きに関心があり、心理学を学びたいと思っていました。学部在学中に受けた先生方の熱心な

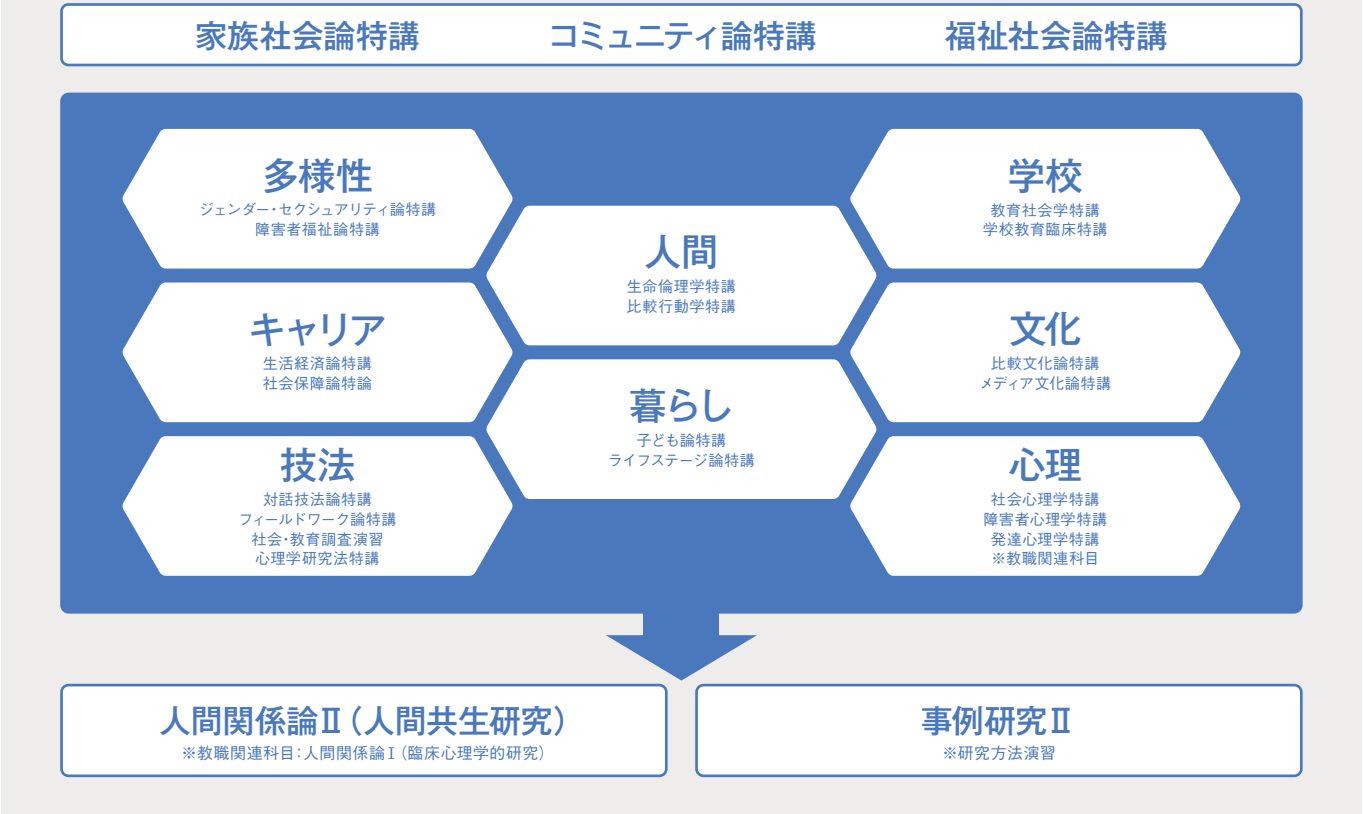
指導を引き続き受けられることが魅力で大学院に進学しました。臨床心理相談室が併設されていることも症例を実践的に学ぶことができるという点で魅力でした。大学院では、「心理士こそ常識人であれ」ということを教えていただきました。これからも「本当にこれが正しいのか」と振り返ることを意識しながら仕事に取り組んでいきたいと思っています。



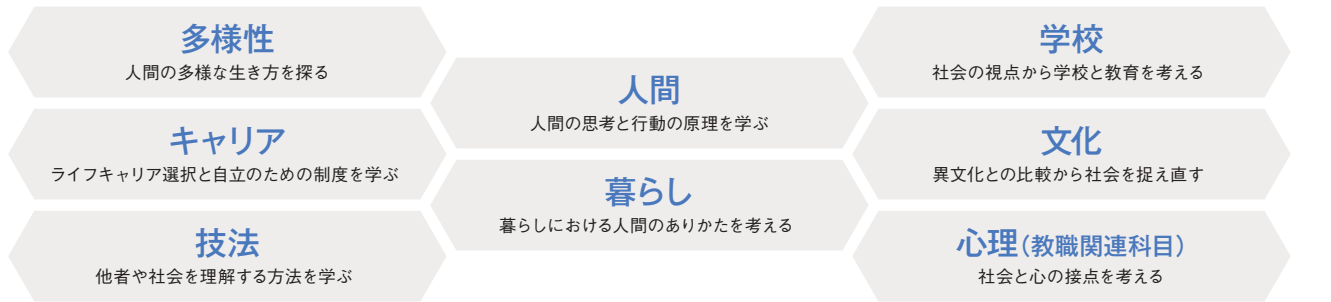
木村 紗彩 さん
(公認心理師・臨床心理士)
独立行政法人国立病院機構 東尾張病院 心理療法士

人間関係学専攻[人間共生領域]

人間共生領域の学び



各テーマの紹介



人間共生領域の特色

■共生社会の実現を目指す

人間関係が多様化・複雑化する現代社会において、人や社会とのつながりの目的は共生すること。「共生」とは、性別、性的指向、民族、言語、障害など、さまざまな違いのある人が、対等な存在として、ともに認め合い、支え合う生き方をさします。人間共生領域では、社会が抱える課題を多角的に捉えるだけでなく、自己実現が可能な共生社会をデザインするための多様なアプローチを理論的・実践的に修得することを目指します。

■多角的アプローチによる学び

「人間」「多様性」「暮らし」「学校」「キャリア」「文化」「技法」「心理」の8つのテーマと各教員の専門性に基づくアプローチから、人間共生に関する学びを深め自らの研究課題を多角的に考えていきます。

■日常生活・社会生活における現実的課題の探究

現代社会の問題を、家族、地域社会、職場など日常生活に関わる課題から取り上げ、その中で発生する問題に対して、どのような解決方法があるのかを考えます。

■専門的な職業人への方向

親子関係の葛藤、学校での問題、地域社会での対立など、社会で出会う課題はさまざまですが、これらの課題に対して、それぞれ専門的機関や行政からの解決・援助の仕組みがあります。人間共生領域では、そうした課題に直面したときの現実的な解決方法を学ぶことによって高度な知識や課題解決能力を養い、それらを生かして専門的職業人として活躍できる人材育成を目指します。

人間共生領域授業科目

履修モデルB ねらい／ライフスタイルやコミュニティデザインに関する専門的知識の修得および社会的支援の専門家の養成を目指す

●時間割例(1年次前期授業科目例・昼を主とした場合)2026年度						
	月	火	水	木	金	土
1					コミュニティ論特講	
2				社会保障論特講		人間関係論Ⅱ(人間共生研究)
3					学校教育臨床特講	
4	社会・教育調査演習					
5						
6					ジェンダー・セクシュアリティ論特講	

●時間割例(1年次前期授業科目例・夜を主とした場合)2026年度						
	月	火	水	木	金	土
1					コミュニティ論特講	
2						人間関係論Ⅱ(人間共生研究)
3						
4						
5						
6	家族社会論特講		比較文化論特講	福祉社会論特講	ジェンダー・セクシュアリティ論特講	

研究基礎科目	
人間関係論Ⅱ(人間共生研究)	(2単位)
研究発展科目	
家族社会論特講	(2単位)
コミュニティ論特講	(2単位)
福祉社会論特講	(2単位)
生命倫理学特講	(2単位)
ジェンダー・セクシュアリティ論特講	(2単位)
障害者福祉論特講	(2単位)
子ども論特講	(2単位)
ライフステージ論特講	(2単位)
教育社会学特講	(2単位)
学校教育臨床特講	(2単位)
生活経済論特講	(2単位)
社会保障論特講	(2単位)
比較文化論特講	(2単位)
メディア文化論特講	(2単位)
対話技法論特講	(2単位)
フィールドワーク論特講	(2単位)
社会・教育調査演習	(2単位)
事例研究科目	
事例研究Ⅱ	(2単位)
特別研究	
特別研究Ⅰ	(1単位)
特別研究Ⅱ	(1単位)
特別研究Ⅲ	(1単位)
修士論文	
修士論文の審査および最終試験	
合 計	22科目 (41単位)

人間共生領域における人材育成

■社会課題の解決を支援する職員

公務員やNPO団体職員として、地方自治体や民間施設などで、広く地域住民の暮らしのサポートを行えるだけでなく、子育てや家族問題など専門的な相談・指導業務に携わります。

■教育機関の指導者

教育者や生活指導の担当者として、教育機関でおこるさまざまな問題行動や病理現象などに適切に対処します。

■保健・医療・福祉関連職

各分野の専門職として、地方自治体や民間企業などで、地域住民や利用者へ公的な仕組みや解決方法などを提供します。

■コミュニティソーシャルワーカー(CSW)

地域の人材や制度、サービスなどを組み合わせ、新しい制度づくりのための調整やコーディネート役を担います。

■コミュニティサポーター

地域コミュニティやまちづくりの支援を行います。主に、地域防災や地域福祉、子育てサポート、若者支援など幅広い分野の知識・経験が求められます。

■起業家(アントレプレナー)、社会事業家

社会問題を認識し、ソーシャルビジネス・コミュニティビジネスを設計し、事業によって解決を図ります。

他にも、民間企業における人事・研修などの担当者を養成するなど幅広い場面で活躍できます。



取得可能な資格

●中学校教諭専修免許状(社会)

※一種免許状を取得していることが条件です。

●高等学校教諭専修免許状(地理歴史・公民)

※一種免許状を取得していることが条件です。

FACULTY

[教員紹介]

- 最終学歴
- 学位・資格
- 主要研究分野
- 担当科目
- 最近の研究テーマ
- 指導可能な領域

●臨床心理学領域担当

浅野 元志 教授

●名古屋大学医学部卒業

●博士(医学) (名古屋大学)、日本精神神経学会認定専門医・指導医、公認心理師、臨床心理士

●精神医学、精神力動的精神療法、精神分析的精神療法

●精神医学特論、臨床心理学基礎実習、臨床心理学実習、スーパーヴィジョン

●大学病院精神科、総合病院精神科、単科精神病院などさまざまな場面において、精神科医として臨床実践を継続してきた。また大学の学生相談室嘱託医、病院職員に対する産業医などの役割も果たしてきた。上述の臨床実践を背景に、研究者としては精神医学、精神力動的精神療法、精神分析的精神療法などを専門にしている。

●臨床心理学領域担当

鍋田 智広 教授

●広島大学大学院教育学研究科教育人間科学専攻博士課程後期修了

●博士(心理学) (広島大学)

●認知心理学、教育心理学

●心理学研究法特講、臨床心理学特別演習、特別研究

●認知心理学のなかでも記憶をテーマとしている。実験室実験だけでなく日常場面や教育場面に応用した研究も行っている。

- ・虚偽記憶(false memory)などの錯誤
- ・忘却、侵入想起などの日常場面における記憶を背景とした問題
- ・日常的な思考抑制による学習意欲の阻害

●認知心理学領域であつかえるテーマであれば、記憶に限らず指導は可能である。

●臨床心理学領域担当

李 敏子 教授

●京都大学大学院教育学研究科教育方法学専攻博士課程単位取得満期退学

●博士(教育学) (京都大学)、公認心理師、臨床心理士

●臨床心理学

●心理療法特講、臨床心理学基礎実習、臨床心理学実習、スーパーヴィジョン、特別研究

●①さまざまな学派がある中で、心理的援助はいかにあるべきかという基本的問題について研究している。具体的には、子どもへのプレイセラピー、思春期のクライアントとの面接、親面接のあり方について研究している。

- ②発達障害児・不登校児への援助、心理的援助における協働、思春期の子どもを持つ親への支援、大学の学生相談室における支援、生活という視点から見た心理的援助について研究している。

●広く臨床心理学に関わるテーマであれば、調査研究、文献研究、事例研究のいずれも指導できる。

●人間共生領域担当

藤原 直子 教授

●名古屋大学大学院教育学研究科博士課程後期課程教育学専攻単位取得満期退学

●修士(教育学)

●教育学

●ジェンダー・セクシュアリティ論特講、特別研究

●フェミニスト・ペダゴジーの理論及び教育実践に関する研究

●セクシュアル・マイノリティの学修環境の保障に関する研究

●人間形成・教育におけるジェンダー、フェミニズム、セクシュアリティに関する研究

●科目担当(人間共生領域)

虎岩 朋加 教授

●ニューヨーク州立大学バッファロー校教育学研究科博士課程修了

●Ph.D. in Social Foundations

●教育哲学、ジェンダー論

●ライフステージ論特講

●フェミニズム理論と教育哲学の観点から、教育実践の文脈の中での人間形成のあり方を、実証研究と理論研究を踏まえて研究してきた。最近は、教育学における情動の位置、映像による批判教育の可能性、思想形成におけるジェンダー・セクシュアリティの意味に関心をもっている。

●臨床心理学領域担当

安立 奈歩 教授

●京都大学大学院教育学研究科臨床教育学専攻博士後期課程修了

●博士(教育学) (京都大学)、公認心理師、臨床心理士

●臨床心理学、青年心理学、心理アセスメント

●臨床心理査定演習、臨床心理学基礎演習、臨床心理学実習、スーパーヴィジョン、特別研究

●困りごとや発達のかたよりによって生にくさを抱える方への心理臨床的援助に携わりながら、

- ①子どもから大人になる過程で起きる心身の変容、それに伴う家族関係やライフイベントの変容、
- ②こうしたプロセスに関わる際の実効ある支援・連携のあり方、
- ③非言語的なコミュニケーションを用いた心理臨床的技法、について研究している。

●上記の研究テーマ及び周辺領域であれば、質問紙調査、面接調査、投影法を用いた研究などが指導可能である。

●臨床心理学領域担当

西出 弓枝 教授

●名古屋大学大学院教育学研究科発達臨床学専攻博士課程後期課程単位取得満期退学

●公認心理師、臨床心理士

●臨床心理学、発達臨床学、特別支援教育

●学校臨床心理学特講(教育分野に関する理論と支援の展開)、障害者心理学特講(福祉分野に関する理論と支援の展開)、臨床心理学基礎実習、臨床心理学実習、心理実践実習、特別研究

●「発達障害児や家族に対する支援(ニーズに応じた支援)」[統合保育や特別支援教育の実践上の課題][夢をもちいた心理療法][「心理療法における対象像の変化」]

●発達障害児のアセスメントと支援、心理療法におけるアセスメントと支援、統合保育や特別支援教育における課題、家族関係と適応

●人間共生領域担当

小倉 祥子 教授

●日本女子大学大学院人間生活学研究科(博士課程後期)生活環境学専攻単位取得満期退学

●博士(学術) (日本女子大学)

●社会政策、生活経済学、労働経済学

●生活経済論特論、特別研究

●女性の就業継続が可能な要因について、主に企業内制度の在り方について、企業(事業所)へのヒアリング調査などを実践し、研究を行っている。

- ・労働組合におけるジェンダー平等政策の在り方
- ・雇用されて働く男女間格差の是正
- ・女性のライフスタイルと就業継続の地域差
- ・ワーク・ライフ・バランスの実現にむけた取り組み
- ・同一価値労働同一賃金の実践にむけた取り組み

●生活経済学、社会政策、企業・労働組合における調査研究(ヒアリング調査)

●人間共生領域担当

松浦 直毅 准教授

●京都大学大学院理学研究科生物科学専攻博士後期課程修了

●博士(理学)、専門社会調査士

●人類学、アフリカ地域研究

●比較文化論特講、フィールドワーク論特講(隔年開講)、特別研究

●アフリカ熱帯林地域の狩猟採集社会の変容に関する研究

●アフリカにおけるヒトと動物の相互関係とその動態に関する研究

●アフリカにおける生物多様性保全と持続的な開発の実践

●特定の地域コミュニティを対象とする文化人類学的研究

●環境保全と持続可能な開発にかかわる研究

●人類学的フィールドワークの実践指導

●科目担当(人間共生領域)

山口 雅史 教授

●名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士課程後期修了

●博士(心理学) (名古屋大学)

●発達心理学

●子ども論特講

●①幼稚園における人間関係の発達。主に3歳児を対象として遊びの展開の様相を検討し、その中で人間関係がどのように発達していくのかを研究している。

- ②親の発達過程に関する研究。主として乳幼児期の子供を持つ親を対象として、親アイデンティティの確立の様相について研究を行っている。

●臨床心理学領域担当

浦上 萌 准教授

●広島大学大学院教育学研究科博士課程後期教育人間科学専攻修了

●博士(心理学) (広島大学)

●発達心理学、教育心理学

●発達心理学特講・特別研究

●幼児期の発達心理学を専門としており、主に認知発達分野について研究してきた。近年は主に、幼児期の数量概念の発達、親のスマホ利用と子どもの抑制機能の発達との関連、幼児期から児童期のジェンダーステレオタイプについて検討を行っている。また幼児期以外では、大学生の進学動機と就職に至るまでの学習動機についても研究してきた。

●上記研究テーマに限らず、乳幼児期から児童期までの発達や幼児教育、保育に関連する分野、親子関係や育児に関連するテーマに関しては指導可能。

●研究手法は子どもへの実験や課題実施、質問紙法、面接法、観察法が可能で、量的研究、質的研究のどちらでもよい。

●臨床心理学領域担当

舛田 亮太 准教授

●九州大学大学院人間環境学府博士後期課程修了

●博士(心理学) (九州大学)、公認心理師、臨床心理士

●臨床心理学

●臨床心理学特講、臨床心理査定特講、臨床心理学基礎実習、臨床心理学実習、スーパーヴィジョン、特別研究

●トラウマ、解離に関する臨床心理学的研究

●力動的心理療法、心理教育に関する研究

●医療、福祉、教育分野における臨床心理学研究

●人間共生領域担当

佐川 佳之 准教授

●一橋大学大学院社会学研究科総合社会科学専攻博士後期課程修了

●博士(社会学) (一橋大学)、専門社会調査士

●教育学

●学校教育臨床特講、特別研究

●フリースクールなどの「居場所」支援における多様性の包摂に関して、教育学的な視座から調査・研究を進めている。

●教育学、あるいは社会学的なアプローチで学校、逸脱、支援などに関する現象を主題化し、分析する研究であれば指導が可能である。

●人間共生領域担当

三浦 隆宏 准教授

●大阪大学大学院文学研究科博士後期課程(文化形態論専攻、臨床哲学専門分野)修了

●博士(文学)

●倫理学・臨床哲学

●生命倫理学特講、対話技法論特講(隔年開講)、特別研究

●アイヒマン裁判以降のハンナ・アーレントの思想

●生殖と出生の場面を中心とした生命倫理の諸問題

●「臨床の知」のあり方についての哲学的探究

●人間の共生に関わる領域であれば幅広く指導が可能である(ただし、調査や行動科学に関する研究指導は除く)。

●臨床心理学領域担当

鈴木 亮子 教授

●名古屋大学大学院教育発達科学研究科心理発達科学専攻博士後期課程単位取得満期退学

●博士(心理学) (名古屋大学)、公認心理師、臨床心理士

●臨床心理学、高齢者心理学

●臨床心理学基礎実習、臨床心理学実習、家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践、心の健康教育に関する理論と実践、スーパーヴィジョン、特別研究

●「認知症介護家族への心理教育」「震災時の認知症のご本人と家族への支援」「介護に伴う介護離職に対する支援」「介護に関わる福祉領域での心理専門職の役割」

●上記のテーマに限らず、臨床心理学領域の調査研究(量的研究、質的研究のどちらでも可)。

●臨床心理学領域担当

宮坂 まみ 准教授

●京都大学大学院教育学研究科教育科学専攻教育認知心理学講座(博士課程)単位取得満期退学

●博士(教育学) (京都大学)、公認心理師、臨床心理士

●臨床心理学、実験心理学

●臨床心理学特講、臨床心理査定演習、臨床心理学基礎実習、臨床心理学実習、スパーヴィジョン

●神経発達症(いわゆる発達障害)のなかで、特にADHD(注意欠如多動症)をテーマに、いかにして注意を維持できるようにするかを研究している。

●医療や福祉、教育、司法など様々な領域で心理臨床活動を行っている、どの領域でも発達障害のある方や診断が出るか出ないかグレーな水準の方に対してどう接すると良いか、頭をひねるご家庭や支援者にお会いする。神経発達症の認知度が高まっているからこそその悩みと言えるかもしれない。全ての人に当てはまる支援のゴールドスタンダードと言えるものではなく、一人ひとりと向き合ってより良い方法を共に検討していく必要が出てくるわけだが、その時に選べる支援方法の選択肢を増やしていきたいと思っている。

●人間共生領域担当

手嶋 雅史 教授

●日本福祉大学大学院社会福祉学研究科福祉マネジメント専攻修了

●社会福祉士

●社会福祉学、障害者福祉論

●障害者福祉論特講、特別研究

●障害者への虐待防止と差別解消に関する支援の具体的形態とその内容

●障害者相談支援従事者の生活支援の特徴と事業所間連携

●社会福祉士が担う一般企業における障害者雇用を中心とした専門性とその役割

●上記のテーマに関することや、その周辺領域での実践研究。

●科目担当(臨床心理学領域)

五百部 裕 教授

●京都大学大学院理学研究科霊長類学専攻博士後期課程修了

●博士(理学) (京都大学)

●人類学、霊長類学

●比較行動学特講

●大型類人猿やアフリカ産オナガザル類の社会生態学的研究。チンパンジーによる狩猟・肉食行動の対象の選好性・地域差に関する研究や、オナガザル科霊長類の採食行動に関する研究を行っている。また、動物園や水族館の来園者の意識や行動について調査している。さらに、以前取り組んでいた鹿児島県トカラ列島口之島に生息する野生化ウシの社会生態学的研究を再開した。

相山女学園大学

星が丘キャンパス / 〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町17番3号
日進キャンパス / 〒470-0136 愛知県日進市竹の山三丁目2005番地

■お問い合わせ／入学センター

入学相談フリーダイヤル  0120-244-887

E-mail happy@sugiyama-u.ac.jp

●交通アクセス

